

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 2月 25日
職員数 5名 回収数 5 割合100%

事業所名: 児童発達支援 放課後等デイサービス幸樹

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	活動・目的ごとに確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1		配置が厳しいときは、職員で話し合い迅速な対応おこなっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		玄関は取り付けスロープ常備しており、室内はバリアフリー。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		保護者からの意見を全体周知することは内容により異なる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページに毎年掲載。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月研修・レポート各自作成している。	今後も研修の時間を長くおこなえるようにしたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	職員各自の見解を意見し合う時間をつくっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		アセスメントツールの内容改善も必要。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	職員全員で話し合い立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		長期休暇になると固定化が目立つ時がある為、課題にしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		きめ細やかな設定に職員が追い付かないといけない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	利用者様の要望も計画にいれている。	コロナ禍で集団活動のレクリエーション等がたてにくかった。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		役割分担について不足があることがある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	振り返りをおこなっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	細かい記録を日々おこなっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的にもおこない、必要な場合は都度、保護者様と話し合いをおこなっている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1		組み合わせが難しい時もあり今後の課題となっている。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		把握漏れなどがあり入念な連絡調整が必要とされる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		要望があれば情報の共有をおこなっています
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	定期的な研修を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		コロナ禍により、外部との関りがなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0		
保護者 への説明 責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時や連絡帳で細かくやり取りしている。	コロナ禍により面談が思うようにできず表情の見えないやり取りでよみとりが困難だった。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に必ず説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	必要な助言・支援はおこなっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		コロナ禍もあるが、保護者様の就労や距離の問題など課題がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	迅速な対応ができる体制がとれている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	お知らせなどの配布をおこなっている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	メールでの対応もおこなっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		外部との距離がコロナ禍で遠くなっている。収束しても、課題になると思われる。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	月に一度訓練をおこなっている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	ミーティングと併せおこなっている。	虐待に対する認識を深めるよう研修機会を増やしたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	説明をうえて同意書をいただいている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		アレルギーがあれば、医師・保護者の指示通りに対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ファイリングし、いつでも共有できるようにしている。	